

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



一切をただ有難く何事も

神のみ旨とうれしみて生く

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作

灰釉茶盃「楓」
至聖殿土／至聖殿楓釉

無事落札の吉報

愛善宣教課長 西山 桂一郎

祖母の家は、綾部の天王平の登り口付近にあり、子供のころは聖地参拝に合わせて家族で宿泊していました。中学生の時、そこから歩いて梅松苑まで行く途中、叔父から「将来ここは大本の土地になるんだよ」と教えてくれました。その土地が、農業研究センター跡地でした。この土地は、二代教主さまが「晩年」蚕糸試験場（農業研究センター）は、先になつたら大本の機場になるのやで」と周囲に漏らされていた土地で、三代教主さまも長生殿の設計を構想の際、この土地の入手をご希望になり、「長生殿の神域」と捉えておられました。

8月31日、長生殿前の「農業研究センター跡地」について一般競争入札があり、大神さまの絶大なるご守護のもと大本本部が無事「落札」し、土地取得の権利が得られたという吉報が全国の機関長に届けられました。

この日（31日）は、二代教主さまの月命日でもあり、そして、今年最大の満月（スーパーブルームーン）でもありました。

9月10日の東光苑月次祭時には、橋本伸作東京宣教センター長によつて教主さまのお言葉が読み上げられ、最後に参拝者全員で万歳三唱を行い土地取得を寿ぎました。

この土地には、稚姫君 命さまをおまつりする綾機神社の建設を予定しており、多くの方に参拝してほしいという思いがあります。

稚姫君命さまは機織りの神さまの他に、航海の神、海の守り神としても示され、『おほもとしんゆ』に「良の金神大国常立尊が、神功皇后殿と出て参る時節が近よりたぞよ」など、神功皇后との深い関係性も記されています。

また、聖師さまは『霊界物語』には「若比婁女（稚姫君命）神の仕組の時は来て錦の御旗織り初めにけり」「機を織るということとは、世界の経綸ということでありませぬ。（稚姫君命は）経と緯との仕組をしていたらいたのであります」など示され、機織りとは世界の経綸を意味し、その機織りを稚姫君命さまがなさるといふことで、綾機神社がとても重要だと感じられます。

いよいよ綾機神社の建設が近づいて来ました。



長寿祝賀式典を開催

9月の東光苑月次祭（長寿感謝祭・交通安全祈願祭）並びに秋季合同慰霊祭、関東大震災百年犠牲者慰霊祭は9月10日午前10時30分から、齋主・加藤道明祭務課長のもと執行され、215人が参拝したⅡ写真下。祭員は関東教区青松会員、伶人は二絃の会関東支部、大本神諭拝読は朝倉剛太郎群馬主会青松会長が担当。東光庵では、添釜がかげられ、高野社中が担当した。

祭典後、橋本伸作東京宣教センター長があいさつ。本日、長寿感謝祭に参拝の対象者に祝辞を述べた。続いて「長寿祝賀式典」が行われ列席者22人を紹介、石井宣直心会関東教区連合会常任委員が祝辞ののち、長寿者を代表し



当日列席者＝米寿／野村美知彦（栃木）、飯田啓子（茨城）、佐橋妹須子（埼玉）、萩原よね・阿部芳子（東京）、中村静子（神奈川）、橋本美智子（東京本部直属）喜寿／渡辺タカ子・渡辺宗喜（福島）、朝倉暢子（群馬）、八嶋敏子・武藤政次・山口信利（茨城）藤塚久代（埼玉）、塩田久恵（山梨）、星野利一（東京）、難波朝子・石黒朝子・星田尚江・藤谷外志子・田中佑未子（神奈川）、門田修（東京本部直属）



て神奈川主会大船分所の中村静子さん（米寿）に記念品が手渡され、ついで東京主会八雲会合所の星野利一さん（喜寿）が答辞を述べた。この後、長寿者は参拝者の拍手に見送られ退場した。なお、本年、東北・関東教区の長寿該当者は白寿26人、米寿74人、喜寿149人。また、1階ロビーでは、愛善みずほ会ドローモの出張販売が、また、第50回南米本部夏期学級送り出しバザーが行われた。



献納・ハイエース

この度、尊いご献金により10人乗りハイエースを納車いたしました。厚く御礼申し上げます。聖地参拝ツアーなどで使用させていただきますので、ぜひご参加ください。

● 離任あいさつ

かとう みちあき
前東京宣教センター祭務課長 **加藤 道明**



9月1日付で東京宣教センター祭務課から亀岡宣教センター祭務課（万祥殿）へ異動となりました。東京に再赴任しておよそ5年、東北・関東教区の信徒の皆さまには不慣れな点や至らない点がありご迷惑をお掛けしたと存じますが、皆さまの温かいお心で支えていただきましたこと、心から厚く御礼申し上げます。部署が変わっても、ご神業奉仕に邁進させていただきますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

● 着任あいさつ

しいの きょうぞう
東京宣教センター祭務課長 **椎野 恭三**



9月1日付で特派宣伝使から東京宣教センター祭務課へ異動となりました。よろしくお願いいたします。

私、梅松塾を出て最初の赴任先が東京本部でした。以来、40年あまり、宣教課、総務管理課、あるいは特派宣伝使として、皆様方にお世話になり、ありがたく感謝申し上げます。

これからは、祭務課としてご奉仕に邁進させていただきますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

東光苑オンライン講座

11月25日（土）19：00～

出口王仁三郎が目指した平和な世界 ～道院との提携100年～

講師：山田 旺（亀岡宣教センター総務部長）



大正12年9月1日（1923）の関東大震災をきっかけに、同年11月4日、中国済南で発祥した道院と大本が提携を結びました。この提携から100年の今、出口王仁三郎聖師がめざした世界平和への道筋が見えてきました。今回は、出口聖師が描く「みろくの世」へのロードマップについて学びます。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

11月 東光苑祭典・行事予定

5日（日）午前10時30分
開教131年 大本開祖大祭遙拝祭

12日（日）午前10時30分
東光苑秋季大祭・新穀感謝祭・七五三詣り

25日（土）午後1時30分
自己を見つめる集い（鎮魂と浄書）

25日（土）午後7時
東光苑オンライン講座（配信）
講題 出口王仁三郎が目指した平和な世界
～道院との提携100年～
講師 山田旺（亀岡宣教センター総務部長）